

第1 令和4年度（2022年度）当初予算



令和4年度（2022年度）当初予算は、「平成28年熊本地震」「令和2年7月豪雨」「新型コロナウイルス感染症」の3つの大きな課題への対応を最優先とし、このような状況の中、半導体産業の更なる集積に向けた取組みやDX、移住定住の推進など、将来の熊本の発展に必要な事業について編成しています。

第1 令和4年度（2022年度）当初予算

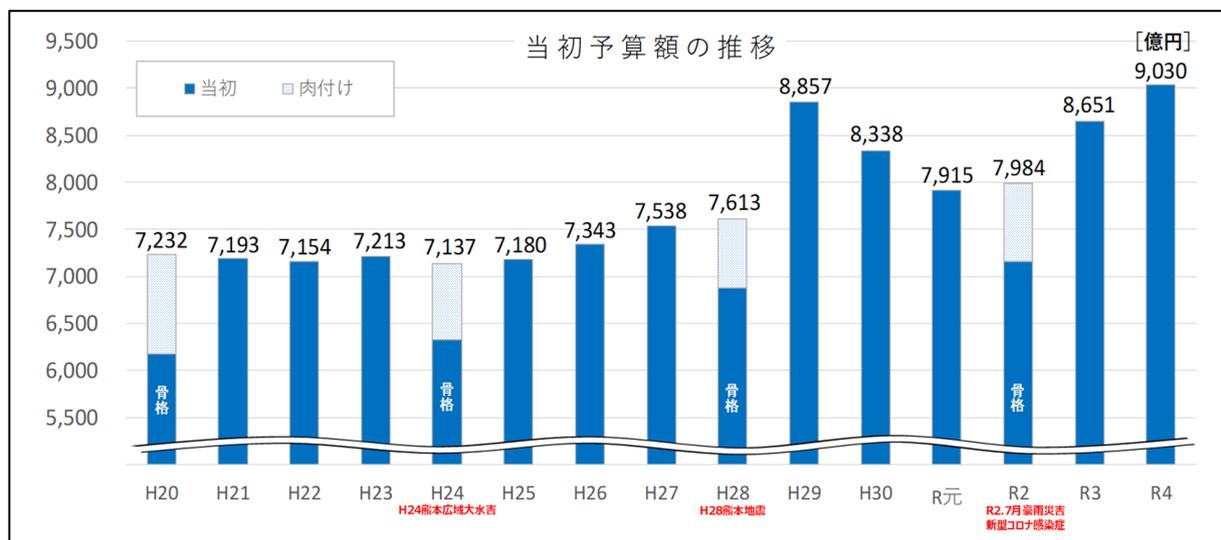
（1）予算編成の基本的な考え方

令和4年度（2022年度）当初予算は、「平成28年熊本地震」「令和2年7月豪雨」「新型コロナウイルス感染症」の3つの大きな課題への対応を最優先とし、このような状況の中、半導体産業の更なる集積に向けた取組みやDX、移住定住の推進など、将来の熊本の発展に必要な事業について編成しました。

（2）当初予算の規模

一般会計当初予算の規模 9,030億円

当初予算の規模は、前年度比379億円の増（+4.4%）となりました。これは、新型コロナウイルス感染症関連事業の増が主な要因です。



（3）当初予算の特色

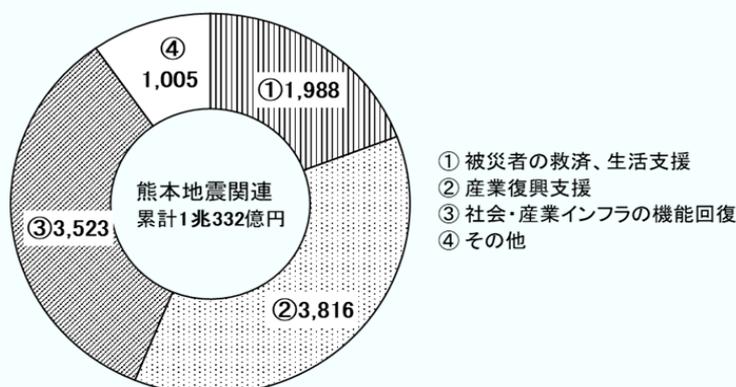
- 令和2年7月豪雨からの創造的復興 338億円**
被災者・被災地域の日も早い復旧・復興に向けた取組みや県内全域で取り組む災害に強い郷土づくりに必要な予算を計上。
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 1,116億円**
感染症対策の体制強化や持続可能な社会・経済活動の実現に必要な予算を計上。
- 熊本地震からの創造的復興 224億円**
被災者の暮らし・生活の再建や創造的復興の推進に必要な予算を計上。
- 将来に向けた地方創生の取組み 157億円**
半導体産業の更なる集積に向けた取組みやDX、移住定住の推進等のために必要な予算を計上。

【平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害への対応（累計予算額）】

熊本地震への対応

○平成28年度～令和4年度当初予算までの累計額は1兆332億円

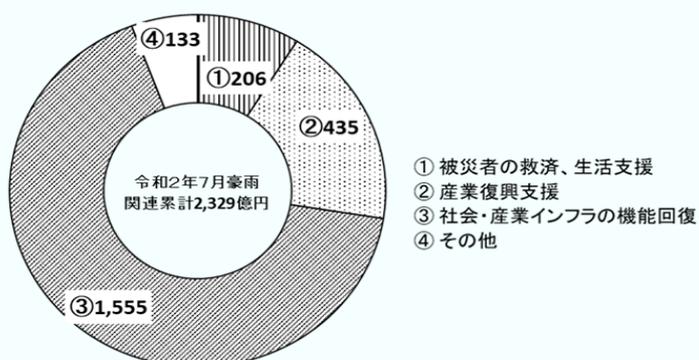
- ・令和3年度2月補正予算までの累計予算額：1兆108億円
- ・令和4年度当初予算額：224億円



令和2年7月豪雨への対応

○令和2年度7月補正～令和4年度当初予算までの累計額は2,329億円

- ・令和3年度2月補正予算までの累計予算額：1,991億円
- ・令和4年度当初予算額：338億円



参考 特別会計予算の内容

県が特定の事業を行う場合、その経理を明確にするために、一般の歳入歳出と区分して、法令や条例により設置された会計を特別会計といいます。

本県では、中小企業振興資金特別会計をはじめ15の特別会計があり、その令和4年度（2022年度）当初予算額の合計は、3,114億74百万円となっています。

令和4年度（2022年度）特別会計の当初予算の詳細は、付表3（45ページ）のとおりです。